

「学校給食 委託になったらどうなるの？」
日時：11月30日(日)午後2時～4時
場所：和泉シティプラザ多目的室
コディネーター：榎原 正澄さん
(豊かで安全な学校給食をめざす大阪連絡会会長)

泉北教育

NO.1986 2014.11.17.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

40人学級 安易な予算削減で 教育条件後退

10月27日、財務省は財政制度等審議会で、公立小学校の一年生で導入されている35人学級を従来の40人学級に戻すよう求める方針を提示しました。

財務省は全体的に子どもが減っているのだから、教員も減らせるはずだと主張しています。文部科学省がめざす幼児教育の無償化の財源として、少人数学級の

見直しが一案なのだそうです。しかし、幼児教育の財源として、同じ文科省の施策の見直しを持ち出すのは、省庁間の駆け引きの発想であり安易な考え方ではないでしょうか。

財務省は見直しの根拠として、35人学級導入前の5年間と導入後2年間のいじめ等のデータを比べ、明らかに効果が認められないとしています。制度の効果をおおむね3年間で結論づけるのは短絡的な考え方と言えるでしょう。

小学校1学級あたりの児童数は、日本が28人で、0

ECD平均の21人よりかなり多くなっています。そもそも、少人数学級導入の背景には、一人ひとりの子どもたちに寄り添い、その声を聞いていかに聞きとり、一人ひとりの発達課題にに応じてきめ細かい教育をと願う子ども・父母・教職員をはじめとした国民の声があります。文科省の調査では、保護者の8割、教職員の9割が30人以下の学級を望んでいるという結果が出ています。財務省は、根拠のない提案を重ねることで、国民の理解を失い財政再建も遠くではないでしょうか。

今学校には貧困や較差など社会の課題が集まり、支援の対象となる子どもも増えていきます。教員が減ることと、ますます子どもと向き合う時間が少なくなってしまう。私たちは40人学級への後退に反対し、小・中・高全てにおいて35人以下の学級を実現することを求めます。

たゆみなく 強さを育むために

“こどもと教育を守る阪南連絡会”が9月からお願いしていました、「すこやかアピール」に泉北教組の呼びかけに賛同して頂いた方が、123名、そのうち、名前を載せても良いとされた方は78名ありました。阪南連絡会は皆様の力を得て、11月22日(土)浪切ホール4階の特別会議室で、2時より教育の集いを持ちます。多数ご参加ください。今回は 賛同いただいた皆様より、寄せられた声を見ていただきます。

- *教育の独立性は絶対を守るべきです。
- *こどもの健やかな成長を大切に！人間を大切にする国にしてください
- *教育を取り巻く今の動きに本当に怖さを覚えます。こどもは大人、それが先生の言うことなら、なおさら信じます。教育現場に歴史を歪め、自由な発想、意見を奪うような動きに反対します。
- *こどもの幸せのために私にできることはしたいです。(元 教員)
- *戦前に生まれた私は今の教育行政のやり方に反対です。
- *子どもたちに手渡したいのは平和な未来です。戦争する国の人作り許せません。(元 教員)
- *戦後積み上げてきた宝を崩そうとしています。力を1つにして守ろう。
- *少女時代、私が歩いた道を次代の人たちに歩かせるわけにはいきません。
- *命は自分のものです。平和が一番です。(元 教員)
- *道徳の教科化に反対します。(元 教員)
- *教育委員会制度の改悪に反対です。時の権力によって、教育が左右されてはなりません。(元 教員)
- *政府や首長の教育への介入を許さない。(元 教員)
- *どこまで戦前に戻るとか、心配しています。
- *子どもたち、個々の成長をしっかりと見守れる教育を！
- *今以上の教育破壊、教育の右傾化に我慢がなりません。

阪南・教育のつどい 教育「改革」のゆくえと 子どもをとりまく環境変化

11月22日(土)



1966年東京都生まれ・阪南市在住
東京理科大学人文学部助教授

とき 午後1時30分開場/午後2時開会
ところ 浪切ホール4階・特別会議室

【お話：越野 章史さん】
(和歌山大学教育学部 准教授)

【地域からの報告】
(岸和田市・泉佐野市・和泉市より)

「いじめのない、だれもが大切にされる学校を」「基礎的な学力を身につけて」…教育をめぐる切実な願いは大きくなるばかりです。しかし、安倍「教育再生」は(35人学級から40人学級へ戻そう)とするなど願いは逆行することばかりです。教育は教員と子どもとの人間関係のふれあいを通じて行われるものです。だからこそ自由や自主性は欠かせません。私たちは子どものすこやかな成長を大切にする教育をすすめるために連絡会を結成しました。一緒に学習いたしましょう！

主催：子どもと教育を守る阪南地域連絡会 (連絡先)
泉北教職員組合/泉大津市教職員組合/岸和田市教職員組合 岸和田市教職員組合内
泉南教職員組合/泉佐野市教職員組合/泉南市教職員組合 岸和田市土生町2-5-4 〒596-0825
泉南教職員組合/大阪分連阪南地区協議会 TEL 072-422-4876・FAX072-423-3171

「集団的自衛権」の行使反対。教え子を再び戦場に送るな。